

## 最終公開審査対象応募案件改善アドバイス

2018年4月24日  
COG2017 審査委員会

### I. 総論

#### <ファイナリストチームへのメッセージ>

今回の最終公開審査案件では、市民／学生チームの地域課題解決の取組に対するコミットが高い評価につながりました。これら 13 案件の今後の課題は総じて、（１）アイデアの実現に向けての資金と人を含む体制的基礎の充実、学生主体チームについては実現に向けての持続可能な体制の構築が求められること、（２）COG では社会的活動のアイデアを重要視しているが、アイデアの実現段階ではデジタル時代を踏まえて社会的活動のアイデアを支えるデータ活用アプリの有効な利用も資金的体制的なリリースの範囲で検討してみること、（３）アイデアの実現フェーズに移行するには（１）の体制問題に加えて、①デザイン思考によるアイデアの再検証、②実現可能性調査、③アプリに利用可能なデータの収集、などに気を配って着実に進めて欲しいと思います。

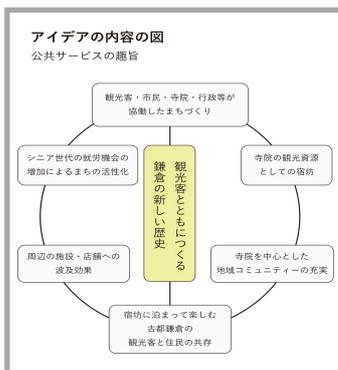
これから一年後、二年後にその進化のプロセス、実施のプロセスをご報告いただけることを心待ちにしております。「チャレンジ！！オープンガバナンス 2017 フェーズ 2」として、実施に向けてのチャレンジです。アイデアが実り、地域の課題解決に貢献していかれることを願っております。

宿坊を通してシニア世代の高齢者の雇用拡大～KAMAKURA を世界基準の観光都市へ～

（応募チーム：minamoto）

（特徴）

鎌倉市は関東でも有数の歴史観光都市であるが、日帰り客が大部分で、この現状を変えて世界基準の 24 時間以上滞在する観光都市を目指して、寺院への宿泊需要を掘り起こして高齢者の雇用促進につなげようというもので、まちづくりプランコンテストに参加した学生も多く含んだチームを編成して NPO 法人がアイデアをまとめていったところに特徴がある。



(アドバイス)

(1) 寺院への宿泊需要のニーズ確認

鎌倉の観光客に日帰りではなく寺院の宿泊で魅力をつけて泊まってもらうという発想自体は評価できます。しかし、実際の観光客の立ち場に立って、本当にどういう魅力があれば宿泊する気になるか、でサイン思考の手法を本格的に取り入れて、観光客の本音とニーズを明確にしていかれることを期待します。これがまずこのアイデアの実現と成功に向けての第一歩ではないかと思います。

(2) シニア世代の活躍機会の拡充

以上の前提に立って、宿坊の維持のための人員や近隣の商店街などの活性化に加えて、鎌倉のシニアにどのような活躍の機会を与えることができるか、鎌倉在住のシニアの方々のやりたいこと調査や市役所の雇用希望登録の分析なども行って、ニーズの掘り起こしができると大変有意義かと思います。

(3) 市役所との連携

市役所の役割はシニア世代の雇用希望とのその場とのマッチングを期待されていますが、(1)や(2)に関連して、このチームの活動についてデータ提供や既存の制度を使って支援できることはないかを検討していただくと連携のあり方としてより進んだ形になるのではないかと思います、